1補助金の概要 【No.274】

補助金名称	中学生のための札響	コンサート閉	開催負担金							
補助金の性格	団体への補助(事業)	本への補助(事業費補助) 始期 H17 終期						-		
予 算 事 業 名	教育振興費(中学校)					(事業=	コード)		0411	12
所 管 部 署	学校教育 部		学務 課				電話番	号	内線	6227
交付先(団体、個人等)	旭川市中学校連盟	川市中学校連盟								
交付目的	(対象) 誰、何に対して	旭川市内の	D中学生							
Z N G II J	(意図) どういう状態にしたい	(意図) 文化活動を助長し、本市の未来を担う中学生の情操教育の一環として、情緒豊かな人 間性を育む。								
対象事業等の内容	旭川市中学生のための札響コンサートの開催費を負担する。									
積算方法	積算方法 対象経費の1/2以内									
	① コンサート鑑賞者			単位∶人	2					単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	R04	R05	R06
の天順	0 0	1,303	1,319	1,142						
	① 全生徒に対する=	ンサート鑑賞	賞者率	単位:%	2	<u> </u>				
成果指標と過去5年間の 中標	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	R04	R05	R06
実績	0.0 0.0	17.8	18.3	16.0						

	,,,,,,	人儿守	△和○左帝(沈答)	△和4年度(法等)	<b>△和5</b> 左南(沈答)	今和c左束(法签)	年世·丁门 		
		1	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
		前年度繰越							
補	収	市負担金		1,250	1,250	1,250	1,250		
助动	入	協議会負担		1,500	1,500	1,500	1,500		
象	内								
事	訳								
助対象事業等		その他		215	236	264	261		
の	収入	(合計		2,965	2,986	3,014	3,011		
収	市補	輔助率(%)		42.2%	41.9%	41.5%	41.5%		
支状	支出			2,965	2,986	3,014	3,011		
況		うち食糧費、交際費							
	次年	- F度繰越							
	一般	段財源		1,250	1,250	1,250	1,250		
	特定	⋶財源							
市	人	て 人工		0.1	0.1	0.1	0.1		
負担額	件	正職員金額		767	776	783	808		
額	費 臨時·嘱託/会計年度任用職員								
	その	)他事務費							
	合計	†		2,017	2,026	2,033	2,058		
受:	益対	象者数		7,312	7,223	7,129	6,976		
補且	補助金単位コスト(単位:円)			276	280	285	295		
		# 'S = 'E	◆ 支出根拠が法令、条例、規則、要綱等に基づいている ◆ 支出目的、支出範囲が法令の規定に抵触しない						
		共通事項	◆ 交付申請等が定めた	たとおりになっている					
		団体の運営、	◆ 会計処理が適正でa	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてし	いる		
適	恪性	会計処理等	   ◇ 決算における繰越金	★(剰余金)が補助額から	判断し、妥当である				
				尾績報告時に領収書の提		処理されていることを確	認している。		
			\	^ <del></del>	^ <del></del>				

3個別項目に対する評価 [No.274]

O III	が対して対するに	ГШ	[110.274]
	項目	チェック項目等	評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
1補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
人付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準		◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では
لح	(4)見直し期間		ない(対象外)
の	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設
適合性			定していない
台			■ □ 奨励目的補助だが、終期を設
I I I			定していない
	(5)交付規程 (支出根拠)	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	<ul><li></li></ul>	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
٠,	A A L. L.	広く市内の中学生を対象としている。	■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 tj	必要性	収益性に乏しいため、負担金がなくなった場合の事業の維持は困難となる。	■ 必要性が高い
٠ <u>%</u>	女任		
			□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	
4効果		本市の未来を担う中学生の文化活動及び音楽教育を助長し、フルオーケストラの生演奏	■ 効果が高い
		に生徒が直接触れることにより、感性を磨く貴重な体験の場を設けることができた。	  □ 効果が高いとは言えない
		  「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	- MAN IN CIGATOR
		1(4)見直し期間	
53	の他	本コンサートは旭川市中学校連盟、旭川市教育委員会、北海道新聞社、札幌交響楽団の	
	, <b>V</b>	ぼ当該負担金と北海道新聞社の助成金で賄われている。負担金がなければコンサートの	
		教育基本計画においても、生徒の豊かな情操を培うこととしており、コンサートの鑑賞機会  る。	· いた供は学伎も継続すへさと考え
		L'Q/∩	

# 4令和3年度行政評価への対応状況等 <u>(行政評価)</u>

補助金名称(当時)	中学生のための札響コンサート開催負担金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	引き続き他都市における参加料の徴収事例を調査しつつ、継続することが妥当である。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	他都市の同事業の実施状況を確認しているが、参加料を徴収している自治体はなく、保護者負担が増大することから徴  収には至っていない。
(その他の見直し)	

<u>(その他の見直し)</u>		
見直しの年度	具体的な内容と効果	

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	コンサートを開催するためには、市からの負担金が不可欠であり、依存度が非常に高い。
解決に向けた取組	文化活動の助長等教育の振興を目的とし、今後も他市町村と同様にコンサート開催のため市からの負担金を継続する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	引き続き他都市における参加料の徴収事例を調査しつつ、継続する。
外部評価	-	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.275】

一面的並び版文											[140.270]
補助金名称	各種大会選	<b>建手派遣等</b>	補助金(小字	学校)							
補 助 金 の 性 格	団体への補	本への補助(事業費補助) -   始期   S63   終期   -									
予 算 事 業 名	各種大会選	手派遣等:	推進費(小字	学校)			(事業コ	<b>ード</b> )		041122	<u>.</u>
所 管 部 署	学	学校教育 部 学務 課 電話番号 内線 6227						3227			
交付先(団体、個人等)	市内小学校	での文化活動	動団体								
	(対象) 誰、何に対	対象) 地川市内の小学生									
	(意図) どういう状態	意図) 全道・全国大会に出場する児童の派遣費の一部を補助し、小学校の文化活動の活性化 ういう状態にしたい を図る。									
対象事業等の内容	全道・全国大会に出場する児童の派遣費を補助する。										
	交付対象経費の1/2以内かつ、交通費は全道大会の場合1人当たり4,500円、全国大会の場合は1人当たり 38,000円、宿泊費は全道・全国大会1泊4,000円を合計した額の範囲内。						人当たり				
	① 交付団体数 単位:団体 ② 大会参加児童数							単位:人			
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	RO	)4	R05	R06
の実績	0	8	5	7	5	0	2	19	103	230	159
	① 全児童	に対する大	会派遣者率	<u> </u>	単位:%	2	_	•			<b>.</b> 単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	RO	)4	R05	R06
実績	0.0	1.6	0.7	1.7	1.2						

24)	くメル	<b>「</b> 况等						単位∶十円		
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)		
		前年度繰越								
補	収	市補助郐	£	1,972	368	908	511	476		
助並	入	協議会負	負担							
補助対象事業等	内訳	児童負担	旦	2,107	401	917	559	500		
事	九									
耒等		その他								
の	収入	合計		4,079	769	1,825	1,070	976		
収支	市補	助率(%	)	48.3%	47.9%	49.8%	47.8%	48.8%		
収支状	支出	合計		4,079	769	1,825	1,070	976		
況		うち食糧費、交際費								
	次年	度繰越								
	一般財源			1,972	368	908	511	476		
	特定	財源								
市台	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
市負担額	件	<b>工机</b> 夹	金額	751	767	776	783	808		
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員								
		の他事務費								
	合計	_		2,723	1,135	1,684	1,294	1,284		
		象者数		14,141	13,882	13,590	13,172	12,856		
補助金単位コスト(単位:円)		(単位:円)	193	82	124	98	100			
		#1	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない		
			<u> </u>	◆ 交付申請等が定めたとおりになっている						
`去+	各性	団信	本の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	め、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	る		
迎作	台注	会記	计処理等		(剰余金)が補助額から					
				会計処理については、実	績報告時に領収書の提	出を受けており、適正に処	D理されていることを確認	している。		
				7						

3個別項目に対する評価 【No.275】

	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1) 对象社員	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
佣册	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
金金		◇ 上記以外	□ 合致しない
交		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
補助金交付基準と	(4)見直し期間 (終期記字)	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな い(対象外)
の適合性	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定 していない
性			■ 奨励目的補助だが、終期を設定 していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
21	<b>益性</b>	広く市内の小学生を対象としている。	┃■ 公益性が高い
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		市の補助金がなければ、その分保護者の負担が増え、小学生の文化活動参加の機会の減少を招く。	■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		小学校の文化活動の活性化及び保護者の負担軽減を図ることができ、本市の教育の振興につながった。	■ 効果が高い
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5その他		1(4)見直し期間 市の補助金がなければ、その分保護者の負担が増えることや、本市の教育振興を図るという必要がある。	う観点からも、今後も補助を継続する

#### 4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	各種大会選手派遣等補助金(小学校)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	_
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の目直し)	

((の他の光色し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果
70 E C C C C C C C C C C C C C C C C C C	六仲のよりもこの木

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課題	補助金を廃止することになれば、その分が保護者負担となることから、経済的理由により大会参加を断念する児童が発生する恐れが  ある。
解決に向けた取組	今後も補助を継続し保護者の負担を軽減する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価 継続		小学生の文化活動の活性化と保護者の負担軽減のため継続する。					
外部評価	-	_					
2次評価	継続	_					

1補助金の概要 【No.276】

										[140.270]
補助金名称	各種大会選	·種大会選手派遣等補助金(中学校)								
補助金の性格	団体への補	助(事業費	[補助]				始期	S50	終期	-
予 算 事 業 名	各種大会選	<b>建手派遣等</b>	推進費(中等	学校)			(事業コー	-ド)	041131	
所 管 部 署	学	校教育 部		学務 課			電	話番号	内線 6	227
交付先(団体、個人等)	旭川市中学	ዸ校連盟、⅃	二川管内中	学校体育連	盟連絡協調	義会				
交付目的	(対象) 誰、何に対	して	旭川市内の	)中学生						
	(意図) どういう状態	態にしたい						でなる。 である である できまた でいまい でいまい こうない こうない こうない こうない こうない ひょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう ひんしょう はい しょう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう かいしゅう しゅう しゅうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう し		出場する
対象事業等の内容	各種大会の	)開催∙運営	に係る補助	カ及び全道・	全国大会(	こ出場する	生徒の派遣	費を補助す	·3。	
各種大会の開催・運営に係る補助は、対象経費の1/2以内。派遣費に係る補助は、交付対象経費の1/2 積算方法 内かつ、交通費は全道大会の場合1人当たり4,500円、全国大会の場合は1人当たり38,000円、宿泊費は全 全国大会1泊4,000円を合計した額の範囲内。										
	① 大会参	加者			単位:人	② 大会開	催数			単位∶大会
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	11	462	510	560	525	1	19	18	20	18
	① 全生徒	に対する大	:会派遣者率	<u> </u>	単位:%	2				単位:
成果指標と過去5年間の 中 生	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	0.1	6.1	7.0	7.8	7.4					

2収支状況等 単位:千円

								単位∶十円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	操越					
補	収	市補助釒	<u>}</u>	8,192	10,936	10,120	11,756	9,455
助対	入入	生徒負担	旦	3,081	4,603	8,811	10,066	9,400
補助対象事業等	内訳	後援会等	<b> 宇補助</b>	7,384	6,721	6,170	6,728	6,000
事	兀	道補助釒	È	0	620	20	80	20
<b>美</b> 笙		その他		1	14,339	3,021	5,912	3,000
の	収入	合計		18,658	37,219	28,142	34,542	27,875
収支状	市補	助率(%	)	43.9%	29.4%	36.0%	34.0%	33.9%
又状	支出	合計		18,658	37,219	28,142	34,542	27,875
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	度繰越						
	一般	財源		8,192	10,936	10,120	11,756	9,455
	特定財源							
市	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
市負担額	件	<b>止</b> 蝦貝	金額	751	767	776	783	808
額	費	臨時•嘱託/会	計年度任用職員					
	その	他事務費	ŧ					
	合計	_		8,943	11,703	10,896	12,539	10,263
受	益対	象者数		7,524	7,312	7,223	7,129	6,976
補耳	助金草	単位コスト	(単位:円)	1,189	1,601	1,509	1,759	1,471
		# 27	ā 車 Tā	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
共通事項		中央	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている				
\ <del></del> -1	. <b></b>	団体	▶の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれていん	<b>a</b>
週	各性	会計	†処理等		(剰余金)が補助額から			
				会計処理については、実	績報告時に領収書の提	出を受けており、適正に処	L理されていることを確認	している。

3個別項目に対する評価 [No 276]

يا ت		ГІШ	[140.270]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
即全		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
補助金交付基準と	/ e> = +1 +0==	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
週合			していない
適合性			■ 奨励目的補助だが、終期を設定
1-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(c) + U+ = + 7	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する 書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	音段の旅門	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	広く市内の中学生を対象としている。	■ 公益性が高い
27	が無性		
			□ 公益性が高いとは言えない
3必要性		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		市の補助金がなければ、その分保護者の負担が増え、中学生の体育・文化活動参加の機	■ 必要性が高い
		会の減少を招く。	- National (Section 1)
			□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		中学生の体育・文化活動の活性化及び保護者の負担軽減を図ることができ、本市の教育 の振興につながった。	■ 効果が高い
		の派兵につながりた。	□ 効果が高いとは言えない
			1 - 2007444   101 - 101 - 101 - 101
E 2	- O 44	1(4)見直し期間	
54	の他	市の補助金がなければ、その分保護者の負担が増えることや、本市の教育振興を図るとい	う観点からも、今後も補助を継続する
		必要がある。	

#### 4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

<u> </u>	
補助金名称(当時)	各種大会選手派遣等補助金(中学校)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	-
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の目直し)	

見直しの年度	具体的な内容と効果

5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	補助金を廃止することになれば、その分が保護者負担となることから、経済的理由により大会参加を断念する児童が発生する恐れが  ある。
解決に向	けた取組	今後も補助を継続し保護者の負担を軽減する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価	継続	中学生の体育・文化活動の活性化と保護者の負担軽減のため継続する。
外部評価	1	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.277】

補助金の性格       団体への補助(事業費補助)       始期       S26       終期       -         予算事業名       教職員活動費(小学校)       (事業コード)       043202         所管部署       学校教育部 教職員課       電話番号       内線 6224         交付先(団体、個人等)       旭川市教育研究会         (対象) 誰、何に対して (意図) どういう状態にしたい       地川市内の小中学校教職員が所属する研究会 ・満図の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態         対象事業等の内容       教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態         対象事業等の内容       教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。	1											
予算事業名教職員活動費(小学校)       (事業コード)       043202         所管部署 学校教育部 教職員課       電話番号 内線 6224         交付先(団体、個人等)       旭川市内の小中学校教職員が所属する研究会         グ付目的       (対象) 誰、何に対して 教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態         対象事業等の内容       教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。         積算方法       補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。         事業量指標と過去5年間の実績       1 教育研究部会数 単位:部会 ②       単位:報告       ②       単位: 日本の主義・課金等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する正式を開かる記述を関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷物の発行、その他教育に関する印刷を表面に関する印刷的の表面に関する印刷を表面に関する印刷的の表面に関する印刷を表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する正式を関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的を表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関する印刷的の表面に関するのに関するのに関するのでは関するのに関するのに関する可能を表面に関するのでは	補助金名称	旭川市教育研究会	旦川市教育研究会補助金									
所 管 部 署     学校教育 部 教職員課     電話番号     内線 6224       交付先(団体、個人等)     旭川市教育研究会       交付目的     (意図) どういう状態にしたい 教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態       積算方法     教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。       積算方法     補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。       事業量指標と過去5年間の実績     ① 教育研究部会数     単位: 部会 ②       取2     R03     R04     R05     R06     R02     R03     R04     R05     R06       成果指標と過去5年間の実績     10     教育研究会参加者数     単位: 人②     単位: 人②       成果指標と過去5年間の実績     では、教育研究会参加者数     単位: 人②     単位: 人②     単位: 人②       成果指標と過去5年間の実績     では、おおいますにより、地域により、	補助金の性格	団体への補助(事業費補助)					始期	S26	6	終期	_	
交付先(団体、個人等)       旭川市教育研究会         交付目的       他川市内の小中学校教職員が所属する研究会         対象事業等の内容       教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態         積算方法       補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。         事業量指標と過去5年間の実績       ① 教育研究部会数       単位:部会       ②       単位:部会       ②       単位:         成果指標と過去5年間の実績       10 教育研究会参加者数       単位:人       ②       R03       R04       R05       R06       R02       R03       R04       R05       R06         成果指標と過去5年間の実績       10 教育研究会参加者数       単位:人       ②       単位:人       ②       単位:       単位:       日の2       R03       R04       R05       R06       R02       R03       R04       R05       R06       R05       R	予 算 事 業 名	教職員活動費(小	学校)				(事業=	コード)	•	04320	)2	
交付目的     旭川市内の小中学校教職員が所属する研究会       対象事業等の内容     教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。       積算方法     補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。       事業量指標と過去5年間の実績     1 教育研究部会数     単位:部会     ②     単位:部会     ②     単位:       成果指標と過去5年間の実績     1 教育研究会参加者数     単位:人②     PO2     R03     R04     R05     R06     R02     R03 <th rowsp<="" th=""><th>所 管 部 署</th><th>学校教育</th><th>部</th><th>教職員 課</th><th></th><th></th><th></th><th>電話番</th><th>号</th><th>内線</th><th>6224</th></th>	<th>所 管 部 署</th> <th>学校教育</th> <th>部</th> <th>教職員 課</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>電話番</th> <th>号</th> <th>内線</th> <th>6224</th>	所 管 部 署	学校教育	部	教職員 課				電話番	号	内線	6224
交付目的       誰、何に対して       他川市内の小中学校教職員がが属する研究         (意図) どういう状態にしたい       教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態         対象事業等の内容       教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。         積算方法       補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。         事業量指標と過去5年間の実績       ① 教育研究部会数 R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	交付先(団体、個人等)	旭川市教育研究会	•									
教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態   教職員の資質向上により、旭川市の学校教育の振興が図られた状態   対象事業等の内容   教育に関する研究、研究協議会、研究会・講演会・講習会等の開催、教育に関する印刷物の発行、その他教育に関すること。	态付且的											
精算方法 補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。  1 教育研究部会数 単位:部会 ② 単位:  R02 R03 R04 R05 R06 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R06 R05 R06	ניום ניו											
	対象事業等の内容											
事業量指標と過去5年間 R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 の実績 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22	積算方法	補助金の額は、交付対象とする経費の2分の1以内で、100万円以内とする。										
事業量指標と過去5年間 R02 R03 R04 R05 R06 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06 R05 R06 R05 R06 R06 R05 R05 R05 R06 R05 R05 R05 R06 R05		① 教育研究部会	数		単位:部会	2					単位:	
22   22   22   22   22   22   22   2		R02 R03	R04	R05			R03	R	R04	R05	R06	
成果指標と過去5年間の R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 R06	の美領	22	22 22	22	22							
成果指標と過去5年間の R02 R03 R04 R05 R06 R02 R03 R04 R05 R06 宝績		① 教育研究会参	加者数	•	単位:人	2	-	•	<u> </u>		単位:	
1,888 1,904 1,876 1,850 1,847		R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	R04	R05		
	美稹	1,888 1,	1,876	1,850	1,847							

2収支状況等 単位・千円

24	2収支状況等							
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
補助		前年度	繰越	890	685	299	79	77
	収	市補助	金	1,000	800	800	800	800
助対	入	研究会	負担	2,475	2,814	2,775	2,748	2,737
象	内訳							
助対象事業等	加							
耒等		その他		0	45	45	45	45
の	収入	、合計		4,365	4,344	3,919	3,672	3,659
収支	市補	助率(9	6)	22.9%	18.4%	20.4%	21.8%	21.9%
支状	支出	合計		3,680	4,045	3,840	3,595	3,659
況		うち食料	費、交際費	8	25	36	48	0
	次年	度繰越		685	299	79	77	0
	一般	財源		1,000	800	800	800	800
	特定財源							
市負担額	人	正職員	人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
貝扣	件	工概只	金額	751	767	776	783	808
額	費	臨時·嘱託/会計年度任用職員						
	その他事務費							
	슴헒	<u> </u>		1,751	1,567	1,576	1,583	1,608
受:	益対	象者数		1,904	1,876	1,850	1,847	1,856
補」	助金島	単位コス	ト(単位:円)	920	835	852	857	866
		#	通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
	八匹子久			◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
		団	体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	3
適	格性	会	計処理等		:(剰余金)が補助額から			
						いており、また、補助金のう。 。毎年度、各教科ごとにな		
				ており、教職員の資質向	上により、本市学校教育	の振興を図るという補助	目的と整合性がある。決算	算における繰越金の額
は補助金額から判断し、妥当である。								

3個別項目に対する評価 [No 277]

يا ت		-  ш	[110.277]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/4~44条织曲	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費 	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
り全		◇ 上記以外	□ 合致しない
補助金交付基準と		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4)目志! 知問	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の海			■ 同一団体補助だが、見直し設定
迎合			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(6)支出を証する	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	<b>公益性</b>	教職員の資質・能力の向上は、第2期旭川市学校教育基本計画の基本施策であり、旭川 市教育研究会の活動は、そのための重要な役割を担っている。	■ 公益性が高い
	<u></u>	川牧自明九去の石動は、そのための主安な技制を担うといる。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		他に類似の団体等もなく、補助金がなくなった場合、旭川市教育研究会の活動が縮小し、 教職員の資質・能力の向上を図るという役割を十分果たせなくなることが危惧される。	┃■ 必要性が高い
			□ 必要性が高いとは言えない
			(左の内容を踏まえての評価)
<b>1</b>	ж <b>ш</b>	研究会や講習会の開催等の経費を補助することで、本市教職員の資質・能力の向上が図	■効果が高い
4×	<b>为果</b>	られた。	
			□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
5₹	その他	1(4)見直し期間について  研究会の活動は本市の学校教育の振興に寄与するものであり、本市の学校教育の充実・発	※展のためにけ、会後も長い期間継
		研え去の占割は本中の子校教育の振典に寄子するものであり、本中の子校教育の元美・別   続して支援をしていく必要があることから   終期を設定していたい	で成り/にはハーは、フ 及ひ文(・粉)印座

## 4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行政評価)</u>	
補助金名称(当時)	旭川市教育研究会補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
	補助金額については、繰越金を考慮し、検討すること。また、市補助金と協議会負担が事業費の合計を超える際は、補助金が過大とならないよう、精算できるような仕組みとすること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和4年度	繰越金の状況を踏まえ減額したところであり、以後、事業内容を精査しながら、適切な補助額としている。
/オの/4の日本( )	

(その他の見直し)

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	教職員の資質向上を目的とした補助であるため、その効果を数値として検証することが難しい。
解決に向	けた取組	教育上の課題やニーズに対応した定性的な目標を設定し、評価検証を行いながら内容の充実を図る。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		児童生徒の健全育成や市の教育全般の充実・発展を図るためには、教職員の指導力等の向上が不可欠であり、全道・全国規模の研究大会における分科会や講習会等は教職員の資質向上に大いに効果があると思われるため。
外部評価	ı	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.278】

一門的並列派女									110.2707
補 助 金 名 称	各種教育研究大会開	催補助金(ノ	\学校)						
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)					始期	不明	終期	_
予 算 事 業 名	各種教育研究大会開	催補助金(ノ	\学校)			(事業コー	-ド)	043203	3
所 管 部 署	学校教育 部	į	教職員 課			電	話番号	内線	6224
交付先(団体、個人等)	旭川市で開催される金	川市で開催される全道又は全国規模の各種教育研究大会の運営を行う団体							
交付目的	(対象) 誰, 何に対して	旭川市立小	\中学校教理	哉員が参加	する研究大	会			
	(意図) どういう状態にしたい	教職員の資	賢向上に。	より、旭川市	5の学校教育	育の振興か	「図られたり	態	
対象事業等の内容	全国・全道から参加者	が集まる機	会に教育研	Ŧ究の成果 <sup>:</sup>	を学ぶことで	で今後の学	校教育の扱	長興に役立て	<b>てる</b> 。
交付対象とする経費の2分の1以内で、全国規模のもの300,000円、全道規模のもの200,000 で補助する。					200, 000F	円の範囲内			
	① 全国・全道規模の	研究大会数		単位:大会	2				単位:
事業量指標と過去5年間	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	0 0	1	0	1					
	① 全国・全道規模の	研究大会の	参加者数	単位:人	2				単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	0 0	235	0	220					

2四支状况等

24	⊉収支状況等							
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年周	度繰越					
補	収	市補具	<b>功金</b>		160		160	
助	入	実行都	5員会負担		1,010		1,100	
象	内	食費(個人負担)					46	
事	訳							
助対象事業等		その他	<u>t</u>		143			
の	収入	合計			1,313		1,306	
収支状	市補	助率(	(%)		12.2%		12.3%	
火状	支出	合計			1,313		1,306	
況	うち食糧費、交際費						46	
	次年	度繰起	<u>坟</u>					
	一般	財源			160		160	
	特定財源							
市	人	正職員	」 人工		0.05		0.05	
市負担額	件	上 東 5	金額		384		392	
額	費	臨時•嘱託	/会計年度任用職員					
	その	)他事務費						
	合計				544		552	
受:	益対	象者数			235		250	
補具	助金島	単位コス	スト(単位:円)		2,315		2,208	
		+	 共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
	六四 <del>章</del> 块		た世争切	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
ار مند	LA LII	5	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	5る ◆ 設立目的	内、事業内容等と補助目	的との整合性がとれている	3
道	恪性	ź	会計処理等		(剰余金)が補助額から			
				会計処理については、会いることから、適正に処理という補助目的と整合性	埋されていると判断される	におり、また、補助金の 。大会の開催は、教職員	支出に係る書類(領収書等 の資質向上により、本市	等)を提出させ審査して 学校教育の振興を図る

3個別項目に対する評価 [No 278]

يا ت		- ІЩ	[140.270]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査, 研修, 懇親会等を対象外	■ 合致する
	/ 4 / 六+ 各 奴 弗	◇ 運営費は交際費, 慶弔費, 飲食費, 懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等, 原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助,終期を設定	□ 継続4年未満
準	( ) = U===	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
趙			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
II			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済,選択基準に合致,その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時, 支出証拠書類提出有	■ 合致する
	(a) + 111 + = T + 7	◆ 額の確定時, 実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本, 帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する書類の添付	◇ 実績報告時,書類大量で,抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
		◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を, 具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
0.4	<del>&gt; + </del> ⊪4-	教職員の資質・能力の向上により、市立小中学校の児童生徒に効果が行きわたっている。	■ 公益性が高い
21	益性		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 1)	。 必要性	各種教育研究大会は、各地域が持ち回りで開催しているが、補助金がなくなった場合、本	■ 必要性が高い
0,2	<b>7女</b> 江	市において開催される研究大会の規模の縮小につながり、十分な効果を得ることができなく	
		なることが危惧される。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4効果		研究大会開催に係る経費を補助することで、研究大会に参加する本市の教職員の資質・能力のウトが図られた。	■ 効果が高い
		力の向上が図られた。	□ 効果が高いとは言えない
			T WAS INC. CIGHT CO.
52	-の他	1000年717年十二年2日111111111111111111111111111111111111	
J (			

# 4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	各種教育研究大会開催補助金(小学校)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	補助実態に合わせた内容となるよう要綱の改正を検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和7年度	補助金額について補助金交付額の実態と整合を図るため、要綱の改正を行う。

(その他の見直し)

(ての他の兄直し)	
見直しの年度	具体的な内容と効果

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課 題 教職員の資質向上を目的とした補助であるため、その効果を数値として検証することが難しい。		教職員の資質向上を目的とした補助であるため、その効果を数値として検証することが難しい。
解決に同	句けた取組	教育上の課題やニーズに対応した定性的な目標を設定し、評価検証を行いながら内容の充実を図る。

評価	結 果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		児童生徒の健全育成や市の教育全般の充実・発展を図るためには、教職員の指導力等の向上が不可欠であり、全道・全国規模の研 究大会における分科会や講習会等は教職員の資質向上に大いに効果があると思われるため。
外部評価	_	
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.279】

補助金名称	各種教育研究大会開催補助金(中学校)						
補助金の性格	団体への補助(事業費補助)	始期	不明	終期	-		
予 算 事 業 名	各種教育研究大会開催補助金(中学校)	(事業コー	(事業コード) 043205				
所 管 部 署	学校教育 部 教職員 課	電	話番号	内線 6	224		
交付先(団体、個人等)	旭川市で開催される全道又は全国規模の各種教育研究大会の	運営を行う団	<u></u> 体				
交付目的	(対象) 誰,何に対して 旭川市立小中学校教職員						
עם פו עון אַ	(意図) どういう状態にしたい 資質向上により、旭川市の学校教育の振	興を図る。					
対象事業等の内容	教育研究の成果を発表し、全国・全道からの参加者を意見交換で に役立てる。	そ行うことで今	↑後の課題を	∵明確にし、	学校教育		
積算方法	交付対象とする経費の2分の1以内で、全国規模のもの300, 0 で補助する。	00円、全道規	見模のもの2	200, 000円	別の範囲内		
	① 全国·全道規模の研究大会数 <sub>単位:大会</sub> ②				単位:		
事業量指標と過去5年間	R02 R03 R04 R05 R06 R02	R03	R04	R05	R06		
の実績	0 0 0 1						
	① 全国·全道規模の研究大会の参加者数 <sub>単位:人</sub> ②				<b>単</b> 位:		
成果指標と過去5年間の	R02 R03 R04 R05 R06 R02	R03	R04	R05	R06		
実績	0 0 0 623						

2四支状况等

2収支状況等								
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
補		前年度繰越 市補助金						
	収						240	
助	入	実行委員会負担					4,149	
象	内	道等補足	功金				300	
事	訳							
助対象事業等		その他					1,730	
の	収入	合計					6,419	
収支	市補	助率(%	5)				3.7%	
収支状	支出	合計					6,419	
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	度繰越						
	一般	財源					240	
	特定	財源						
市台	人	正職員	人工				0.05	
市負担額	件	工机只	金額				392	
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員						
		の他事務費						
	合計						632	
受:	受益対象者数						623	
補具	補助金単位コスト(単位:円)		(単位:円)				1,014	
		  #;	<b>通事項</b>	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
				◆ 交付申請等が定め <i>†</i>				
:音:	適格性		本の運営、	◆ 会計処理が適正であ			的との整合性がとれている	3
旭		会	計処理等		を(剰余金)が補助額から			*
					<b>埋されていると判断される</b>		支出に係る書類(領収書等の の資質向上により、本市	

3個別項目に対する評価 [No 279]

يا ت	がはローグックロ	- [Щ	[140.278]
	項目	チェック項目等	→ 評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1/分色奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◆ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◇ 上記以外	□ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	( ) = + · !!===	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間		い(対象外)
の	(終期設定)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
週			していない
適合性			┃ □ 奨励目的補助だが、終期を設定
II			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
	/a\ + !! + = + 7	◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
	\ <del>\ \ \</del>   _4L	教職員の資質・能力の向上により、市立小中学校の児童生徒に効果が行きわたっている。	■ 公益性が高い
21	益性		
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3 11	必要性	各種教育研究大会は、各地域が持ち回りで開催しているが、補助金がなくなった場合、本	■ 必要性が高い
0%	女任	市において開催される研究大会の規模の縮小につながり、十分な効果を得ることができなく	
		なることが危惧される。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	研究大会開催に係る経費を補助することで、研究大会に参加する本市の教職員の資質・能力のウトが図られた。	┃■ 効果が高い
		力の向上が図られた。	  □ 効果が高いとは言えない
5 <i>7</i>	- <b>A</b> H	100の主人日本十二の位日は、「日外しの「本田」こと (、10数し助う) 7.0年に	
57	の他		

# 4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
	各種教育研究大会開催補助金(中学校)
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	補助実態に合わせた内容となるよう要綱の改正を検討すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
令和7年度	補助金額について補助金交付額の実態と整合を図るため、要綱の改正を行う。

(その他の見直し)

(ての他の兄担し)	
見直しの年度	1目体的な内容と効果
元旦しの千尺	具体的な内容と効果

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	教職員の資質向上を目的とした補助であるため、その効果を数値として検証することが難しい。
解決に向い	ナた取組	教育上の課題やニーズに対応した定性的な目標を設定し、評価検証を行いながら内容の充実を図る。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		児童生徒の健全育成や市の教育全般の充実・発展を図るためには、教職員の指導力等の向上が不可欠であり、全道・全国規模の研究大会における分科会や講習会等は教職員の資質向上に大いに効果があると思われるため。
外部評価	ı	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.280】

旭川市学校給食物資	共同購入委	員会補助金	<u>:</u>						
団体への補助(運営費	補助)				始期	S59	<b>9</b>	終期	_
学校給食管理費(小学	!校)				(事業=	コード)		04111	8
学校教育 部	学	校保健 課				電話番号	号	内線	6253
旭川市学校給食物資	共同購入委	員会							
(対象) 誰, 何に対して	旭川市学校	を給食物資	共同購入委	員会					
					きを通して	て、学校に	における	教職員	の事務の軽
学校給食用物資を共同 る。	司購入するこ	ことにより、」	良質で安価	な物資を供	給し、学	校給食(	の円滑な	運営を	図ってい
当該購入委員会の運営	営に要する	経費(事務局	<b>弱職員の給</b>	与費、事務	局費、調	查研究	費及び会	≩議費)	
① 完全給食の実施対象者(旭川市	5学校給食物資共同	司購入委員会分)	単位:人	2					単位:
R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	04	R05	R06
20,322 19,994	19,616	19,312	18,862						
① 道内食材(野菜) <i>の</i>	使用率	·	単位:%	2		•	•		単位:
R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R	04	R05	R06
75 72	68	68	74						
	団体への補助(運営費学校給食管理費(小学学校教育 部 週川市学校給食物資語 対象) は、何に対して 意図) ごういう状態にしたい 学校給食用物資を共同 高の2 R03 20,322 19,994 ① 道内食材(野菜)の R02 R03 R03 R02 R03	団体への補助(運営費補助) 学校給食管理費(小学校) 学校教育 部 学校 を	団体への補助(運営費補助) 学校給食管理費(小学校) 学校教育 部 学校保健 課題川市学校給食物資共同購入委員会 対象) 推,何に対して 旭川市学校給食物資芸 意図) 近づいう状態にしたい 減及び学校給食の円済 減及び学校給食の円済 減及び学校給食の円済 高級	学校給食管理費(小学校)	団体への補助(運営費補助) 学校給食管理費(小学校) 学校教育 部 学校保健 課 但川市学校給食物資共同購入委員会	団体への補助(運営費補助)	対象	対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象   対象	対称

2切支状況等 単位・千円

24	义文化	犬況等						単位:千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度網	桑越	192	192	172	172	174
補	収	市補助釒	<u> </u>	10,153	11,001	12,083	16,162	19,430
助対	入	協議会負	担					
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他					2	2
の	収入	合計		10,345	11,193	12,255	16,336	19,606
収支状	市補	助率(%	)	98.1%	98.3%	98.6%	98.9%	99.1%
文状	支出	合計		10,153	11,021	12,083	16,162	19,606
況		うち食糧	費、交際費					
	次年	度繰越		192	172	172	174	0
	一般	財源		10,153	11,001	12,083	16,162	19,430
	特定	財源						
市	人	正職員	人工	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
市負担額	件	正順貝	金額	2,252	2,302	2,327	2,350	2,423
<u>.</u> 額	費	臨時・嘱託/会	計年度任用職員					
	その	他事務費	Į					
	合計	<b> </b>		12,405	13,303	14,410	18,512	21,853
受:	益対	象者数		19,994	19,616	19,312	18,862	18,532
補具	助金島	単位コスト	(単位:円)	620	678	746	981	1,179
		<b>井</b> 沒	<b>通事項</b>	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
\ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>		7.0	中央	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
		団体	の運営、	◆ 会計処理が適正であ	る ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目的	内との整合性がとれていん	3
週4	適格性		<b>十処理等</b>		(剰余金)が補助額から			
				会計処理は、会計責任越金は、補助額から判断		総会時に監査結果報告を	受けていることから、適コ	Eに処理されている。繰
				必並は、補助領別の制度	し女コでめる。			
				·和2年度7 500 4 円 - &				

3個別項目に対する評価 [No 280]

項目	ろ 順	別別は日−別9の計	·1iii	[NO.28U]
1 対象経費		項目	チェック項目等	→ 評価
1)対象検対			◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
例外的に複雑費等一定の上級精を設定し列家		/4/土岳奴曲	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
(2) 受益者負担		(1)对家栓質	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
(2) 受益者負担	1		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
◆ 上記以外			◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
(3) 補助率の参考		(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
(3)補助率の参考			◆ 上記以外	■ 合致しない
(3) 補助率の参考   (4) 保事に対する利子補給 5%以内   ● 合致しない   一有(4年未満)   有(4年以上)   一種(4年未満)   有(4年以上)   一種(4年未満)   有(4年以上)   一種(4年未満)   有(4年以上)   一種(4年未満)   日(4年未満)   日(4年未満)   日(4年未満)   日(4年未満)   日(4年未満)   日(4年以上)   一種(4年以上)   一種(4年来満)   日(4年来満)   日(4年以上)   一種(4年以上)   一種(4年以上)   一種(4年以上)   一種(4年来)   一世(4年以上)   一世(4年末)   一世(4年末))   一世(4年以上)   一世(4年以上)   一世(4年末))   一世(4年末))   一世(4年末)   一年(4年末)   一年(4			◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
本		(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
金	補			
□ 有(4年未満)	助			■ 合致しない
(を期設定)	金衣			
(を期設定)	人			
(を期設定)	其		◇ 奨励目的の補助 終期を設定	
(を期設定)	準			
(条期設定)	غ		「「「「」」「「」」「「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「」「	
世代	の	(終期設定)		
(5) 交付規程	適			
(5) 交付規程	台世			
(5) 交付規程	生			
(支出根拠)         ◇ 上記以外         □ 合致しない           (6)支出を証する書類の添付         ◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有 ◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施 ◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。 ◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの) ◇ 上記以外         □ 概ね合致する           2公益性         (この補助金の公益性を、具体的に記入する) 学校給食に従事する職員の人件費は学校の設置者が負担することと定められている。 学校給食物資の調達効率化のための団体であり、他に収益を得る手段がないため、補助金がないと事業が実施できない。         (左の内容を踏まえての評価) 公益性が高いとは言えない (左の内容を踏まえての評価)           4効果         (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。         (左の内容を踏まえての評価) の要性が高いとは言えない (左の内容を踏まえての評価)		(5) 泰付粗程	◆ 交付規程は制定済 選択其準に合致 その他必要な規定は網羅	
◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有   ◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施   ◆ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。   ◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)   ◆ 上記以外			•	
◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施		(XIII K)A	• "=	
(6) 支出を証する				
◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)				
② 上記以外         □ 合致しない           2公益性         (この補助金の公益性を、具体的に記入する)         (左の内容を踏まえての評価)           学校給食に従事する職員の人件費は学校の設置者が負担することと定められている。         □ 公益性が高いとは言えない           3必要性         (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)         (左の内容を踏まえての評価)           学校給食物資の調達効率化のための団体であり、他に収益を得る手段がないため、補助金がないと事業が実施できない。         □ 必要性が高い金要性が高い金が高い金がないとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高いとは言えないの要性が高い金がないと対象は表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現されている。         (左の内容を踏まえての評価)           4効果         当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。         「効果が高いとは言えないの表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現を表現として、収入額の約98%を負担することにより、良質の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
2公益性			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
②公益性 学校給食に従事する職員の人件費は学校の設置者が負担することと定められている。  □ 公益性が高いとは言えない  (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)  学校給食物資の調達効率化のための団体であり、他に収益を得る手段がないため、補助金がないと事業が実施できない。  (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)  当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。  □ 効果が高いとは言えない  □ 効果が高い			· — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	<u> </u>
公益性が高いとは言えない	0.4	<del>&gt; + </del> ⊪4+		
3必要性 (この補助金が必要である理由を、具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価) 学校給食物資の調達効率化のための団体であり、他に収益を得る手段がないため、補助 必要性が高い金がないと事業が実施できない。 □ 必要性が高いとは言えない ② 必要性が高いとは言えない ② で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。 □ 効果が高いとは言えない □ 効果が高いとは言えない ② 対果が高いとは言えない ② 対果が高いとは言えない ② 対果が高いとは言えない ○ 対果が高いとは言えない ○ 対果が高いとは言えない ○ 対果が高いとは言えない ○ 対果が高いとは言えない ○ 対果が高いとは言えない	21	<b>公益</b> 注	TANDE TO SELECT OF SELECTION OF THE SELECTION OF THE COURT OF THE COUR	
3必要性 学校給食物資の調達効率化のための団体であり、他に収益を得る手段がないため、補助 □ 必要性が高い □ 必要性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない □ 必要性が高いとは言えない ○ で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。 □ 効果が高い □ 効果が高いとは言えない □ 効果が高い □ 効果が高い □ 効果が高い □ 効果が高い				
金がないと事業が実施できない。  □ 必要性が高いとは言えない  □ の補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)  当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。  □ 効果が高い □ 効果が高い				
□ 必要性が高いとは言えない  (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) (左の内容を踏まえての評価)  当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。 □ 効果が高い □ 効果が高い	3必要性			┃■ 必要性が高い
4効果 当該購入委員会の運営に要する経費として、収入額の約98%を負担することにより、良質 で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。 □ 効果が高いとは言えない			立がないと争未が失心とさない。	□ 必要性が高いとは言えない
で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。  □ 効果が高いとは言えない			(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。 □ 効果が高いとは言えない	4効果			■ 効果が高い
			で安価な学校給食用物資を供給し、学校給食の円滑な運営に寄与した。	□ 効果が高いとは言えない
一門の正人口を中にの返日に」に自然ののでは四について、に私の配がり、のこと。				日 別末2 同でこは日元ない
1/0)平光字色和				
1(2)受益者負担 				$b_{\circ}$
5その他 1(3)補助率の参考基準	53	の他	1(3)補助率の参考基準	
経費の大半が物資調達事務を行う人員の人件費であるという団体の性格上、補助率を定めることは馴染まないため。				は馴染まないため。
1(4)見直し期間   共同購入方式により学校給食を実施していく上で、期間を定めることは馴染まないため。				

#### 4令和3年度行政評価への対応状況等

(行政評価)

補助金名称(当時)	旭川市学校給食物資共同購入委員会補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
	学校における教職員の事務負担の軽減及び学校給食の円滑な運営を図るため、本補助金を継続すること。なお、学校給食の公会計化については、財政負担や費用対効果を十分考慮し、判断すること。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
(その他の目直し)	

((の他の元旦し)	
目直しの任度	1月休めた内容と効果
兄担しの十尺	具体的な内容と効果

### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課		事務局職員の賃金は、市の会計年度任用職員の賃金制度を準用しているため、ここ数年補助金額が増加し続けている。
解決に向けた	:取組	外郭団体等の事務局職員の人件費を中心とした運営費補助を行っている他部局の状況を確認し、市の会計年度任用職員の給与に 満たない水準の給与制度を適用している部局があれば、その事例を参考に賃金制度の見直しの可否を検討する。

評価	結果						
1次評価	継続	学校給食用物資を共同購入することで、良質で安価な物資を安定的に供給するとともにし、学校における教職員の事務負担の軽減及び学校給食の円滑な運営を図るため当該補助金交付の継続が必要である。					
外部評価	i –						
2次評価	継続	_					

1補助金の概要 【No.281】

補 助 金 名 称	旭川市学校	旦川市学校保健会運営費補助金								
補助金の性格	団体への神	団体への補助(運営費補助)				始期	S35	終期	_	
予 算 事 業 名	学校保健活	5動費(小学	<b>学校</b> )				(事業コー	-ド)	041122	
所 管 部 署	学	校教育 部	学	校保健 課			電	話番号	内線(	3251
交付先(団体,個人等)	旭川市学校	校保健会								
交付目的	(対象) 誰, 何に対	して	旭川市学村	交保健会						
ניו בו נין	(意図) どういう状態	態にしたい		関係者の研	修や情報な	を換による知	田識の向上	等を通じて、	、児童生徒の	の健康保
対象事業等の内容	関係者が一堂に会した研究集会をはじめ、中学生を対象とした体力運動能力優良生徒審査会の開催、研究 録の発行等の他、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、養護教諭、栄養教諭の分野毎に設定している各部会で 研究活動や普及活動を実施している。					昇催、研究 5各部会で				
積算方法	事業に関する費用(補助対象経費)の2分の1以内で予算の範囲内									
	①「学校倪	<b>R健研究</b> 録	」発行回数		単位:回	② 旭川市	i学校保健!	功労者表彰	実施回数	単位:回
事業量指標と過去5年間	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の実績	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	①「学校倪	<b>保健研究</b> 録	」発行部数		単位:部	② 旭川市	学校保健工	力労者表彰	受賞者数	単位:人
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	450	450	425	420	420	13	17	11	9	10

44.	収支状况等 单位:十						丰位.111
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
		前年度繰越	0	0	0	10	19
補	収	市補助金	73	74	200	200	200
助対	入	協議会負担	210	210	210	210	210
対象事	内						
事	訳						
業等		その他					
の	収入	(合計	283	284	410	420	429
収支	市補	輔助率(%)	25.8%	26.1%	48.8%	47.6%	46.6%
支状	支出	出合計	283	284	400	401	429
況		うち食糧費、交際費					
	次年	F度繰越	0	0	10	19	0
	一般	<b>设財源</b>	73	74	200	200	200
	特定財源						
市	件	  正職員   人工	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
負担額		金額	751	767	776	783	808
額	費	臨時・嘱託/会計年度任用職員					
	その	)他事務費					
	合計	†	824	841	976	983	1,008
		象者数	696	693	671	670	670
補助	助金	単位コスト(単位:円)	1,184	1,214	1,455	1,467	1,504
		共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	⊱例、規則、要綱等に基つ	づいている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	見定に抵触しない
		八起事次	◆ 交付申請等が定めが	たとおりになっている			
٠ <del>غد</del> -	ᆉ	団体の運営、	◆ 会計処理が適正であ	ある ◆ 設立目的	的、事業内容等と補助目	的との整合性がとれてし	る
心	格性	会計処理等		(剰余金)が補助額から			
			会計処理については、 とから、適正に処理され である。	会計責任者のもと行われている。なお、繰越金につ			
Ļ	1 1.1	# /	************************************	^	^ < <del> </del>	^	A

3個別項目に対する評価 [No.281]

31	国別項目に対する評		【No.281】
	項目	チェック項目等	評価 証
		◇ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)対象経費	◆ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
		◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	□ 合致する
	(2)受益者負担	◇ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
	(-////_	◆ 上記以外	■ 合致しない
		◆ 団体 1/2以内	■ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
助金		<ul><li>◇ 上記以外</li></ul>	 □ 合致しない
金		◇ エニスグア ◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 百 (4年未満)
交付		◇ 同一団体に対する補助、4年を日述に見直し(外部候例に体る叩力は\。) 	
付世			口 有(4年以上)
基準		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
ح	(4)見直し期間	◆ 終期未設定で、補助継続4年以上	□ 同一団体、奨励目的補助では ない(対象外)
の適合性	(終期設定)		■ 同一団体補助だが、見直し設 定していない
性			□ 奨励目的補助だが、終期を設 定していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(XIII)XIX	◆ 実績報告時、支出証拠書類提出有	■ 合致する
		◆ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	- 13(人) (※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	□ 概ね合致する
	書類の添付	◇ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		<ul> <li>→ 上記以外</li> </ul>	 □ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		学校保健関係者が連携し同会の事業を推進することで、市内の小・中・高等学校の児	■ 公益性が高い
21	<b>公益性</b>	童生徒全体の健康の保持増進に寄与しており、広く市民に効果が行き渡っていることか	■ 公無ほが高い
		ら、同会の活動は極めて公益性が高い。	 □ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		旭川市学校保健会は、学校保健及び学校安全の研究や普及を目的に設立され、医療や教育等の分野が連携	
31	必要性	し、児童生徒の健康保持増進や学校の環境衛生等に係る研究や普及事業等を行い、本市全体の学校保健の充	■ 必要性が高い
ر	7911	実に重要な役割を果たしており、他に類似する団体や活動はない。 同会は医師会、歯科医師会、学校薬剤師会の助成金と市補助金により各種事業を行っており、市補助金がな	
		ければ事業の継続は困難となり、関係分野の連携が欠かせない学校保健の推進に支障を来すこととなる。	□ 必要性が高いとは言えない
		   (この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	
4効果		体力運動能力優良生徒審査会、学校保健功労者表彰、「学校保健研究録」の発行、各	■ 効果が高い
		部会の研究活動等実施のための経費の半分弱を負担することにより、本市児童生徒の	■ 効果が同じ
		健康の保持増進等に寄与している。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
		1(2)受益者負担	
5₹	での他	学校保健関係者の研修や情報交換による知識の向上等を通じて、児童生徒の健康保持を図るためいため。 1(4)見直し期間	めのものであり、受益者負担になじまな
		「(サ)児園と新聞	設定はなじまないため。

# 4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u> (1) 政計៕/</u>	
補助金名称(当時)	旭川市学校保健会運営費補助金
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
継続	継続とするが、アフターコロナを踏まえ、実施する事業の在り方について検討を促すこと。
(2)対応年度	具体的な内容と効果
	現時点での事業は必要不可欠かつ最小限のものであり、アフターコロナにおいて従来の形式での事業を再開しているが、物価高の影響もある中で事業を継続していくために、実施方法について工夫や見直しを行う。
(その他の目直し)	

( ( 0,	7世の元旦し/	
見直	1の年度	目休的な内容と効果
ルロ	.00千皮	六年がは「古じめ木

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が困難な時期もあったが、令和5年度以降は順次、従来の形式での事業を再開している。た 課 題 だし、物価高の影響もあり、事業の実施方法についての見直しを余儀なくされている状況。 解決に向けた取組補助事業の効果を維持するため、事業実施方法の工夫など関係機関等と協議しながら対応する。

評価	結果	理由、改善・見直しの方向
1次評価		医療や教育等の分野が連携して研究事業等を行う本団体の事業は、学校における児童生徒の健康の保持増進に大きく寄与する活動であるため。
外部評価	ı	_
2次評価	継続	_

1補助金の概要 【No.282】

補助金名称	学校給食費支援補助金(小学校)								
補助金の性格	個人への補助(事業費	貴補助)				始期	R5	終期	_
予 算 事 業 名	学校給食費支援費(小	学校給食費支援費(小学校)				(事業コー	-ド)	041153	}
所 管 部 署	学校教育 部	学	校保健 課			電	話番号	内線(	3253
交付先(団体、個人等)	旭川市立小学校長								
交付目的	(対象) 誰、何に対して		記童の保護者 営委員会に終				資共同購 <i>入</i>	、委員会及で	び東旭川学
	(意図) どういう状態にしたい	給食費の一	一部を支援す	することで紹	経済的な負担	旦軽減を図	る。		
	物価高騰等の影響を ち、令和5年度に値上				減するため	、児童の倪	<b>R護者が負</b> 持	旦している糸	合食費のう
積算方法	小学生:月額450円/人>	×12か月×基	準日における	る在籍児童数	数(年額5,400	円を上限)			
	<ul><li>① 対象となる学校数</li></ul>								
事業量指標と過去5年間 の実績	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の夫頓		_	51	51					
	① 補助金交付人数			単位:人	2				<b>.</b> 単位:
成果指標と過去5年間の	R02 R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績		_	162,370	157,311					

2収支状況等 単位・千円

乙収文	2収支状況等						
			令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
	前年	度繰越					
補山	市補	助金			73,067	70,790	102,742
-		会負担					
	<b>j</b>						
事	Τ						
対象事業等	その	他					
の収	(入合計				73,067	70,790	102,742
収市	補助率	<b>E</b> (%)			100.0%	100.0%	100.0%
支状支	出合計	-			73,067	70,790	102,742
況	うち1	食糧費、交際費					
次	年度線	越					
	·般財源	į					
特	定財源	į			73,067	70,790	102,742
青  ノ	正職	:昌  人工			0.1	0.1	0.1
品  作	‡	金額			776	783	808
額	重 臨時·嘱	託/会計年度任用職員					
	の他事	務費					
合	·計				73,843	71,573	103,550
	対象者				162,370	157,311	243,612
補助金	<b>企単位=</b>	スト(単位:円)			455	455	425
		共通事項	◆ 支出根拠が法令、条	例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	り、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
			◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
適格性	<del>/</del>	団体の運営、	◇ 会計処理が適正であ	5る ◇ 設立目	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	5
迎伯	エ	会計処理等	◇ 決算における繰越金	注(剰余金)が補助額から	判断し、妥当である		
		ᄬᄝᄼᅶ	100 F # 7 500 F # 7	104 F B 2020 T B 4	\105 F	100 F # 2000 F # 1	102 F G 0 0 2 0 7 10

3個別項目に対する評価 [No.282]

		-  Щ	[140.202]
	項目	チェック項目等	評価
		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	(1)共免奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補品	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない
並		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	( ) = + · !!===	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の			□ 同一団体補助だが、見直し設定
過			していない
適合性			┃ ┃ 奨励目的補助だが、終期を設定
II			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
	(a) + U+=++	◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
	書類の添付	◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
~ /	\ <del> </del>	令和5年度に値上げした給食費の増加分を市費で負担することで、給食費を負担している	■ 公益性が高い
21	益性	子育て世帯の経済的負担の軽減を図っている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
3必要性		物価高騰等の影響を受け、給食食材を含め様々な物価が上昇していることから、経済的	■ 必要性が高い
		な負担が家計に影響を与えている状況で、給食費に対する支援を求められており、必要性	
		は高い。	□ 必要性が高いとは言えない
4効果		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		令和5年度に給食費を改定し、その値上げ分を支援することで値上げ前と変わらない負担	┃■ 効果が高い
		で学校給食が実施できることから、給食費を負担する児童生徒の保護者の経済的な負担 軽減が図られている。	  □ 効果が高いとは言えない
		注滅が過ぎれている。  「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
52	の他		
5-7		(3)補助率の参考基準   給食費のうち、令和5年度に値上げした額を補助することとしているため、補助率の参考基	進と合致していたい
		「「「「「「「」」」」」、「「「」」、「「」」、「「」」、「「」」、「「」」	;十二日玖しているい。

## 4令和3年度行政評価への対応状況等(行政評価)

<u>(行以評価)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

<u>(その他の見但し)</u>		
見直しの年度	具体的な内容と効果	

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	補助金を廃止又は縮小となった場合、保護者負担が増大する。
解決に「	句けた取組	今後も補助を継続し、保護者の負担を軽減する。

評価	- 結果	理由、改善・見直しの方向					
1次評価	継続物価高騰の中、給食費を負担している子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、継続することが妥当。						
外部評価	_	_					
2次評価	見直し	国の学校給食費無償化の動向や財源、他都市の状況等を踏まえ、事業内容を検討すること。					

1補助金の概要 【No.283】

補助金名称	学校給食費	支援補助:	金(中学校)							
補助金の性格	個人への補	輔助(事業費	補助)				始期	R5	終期	_
予 算 事 業 名	学校給食費	貴支援費(中	学校)				(事業コー	-ド)	041154	
所 管 部 署	学	校教育 部	学	校保健 課			電	話番号	内線 6	253
交付先(団体、個人等)	旭川市立中	中学校長								
交付目的	(対象) 誰、何に対			∈徒の保護者 営委員会に約			学校給食物	資共同購 <i>入</i>	、委員会及び	<b>ド東旭川学</b>
עם פו ע	(意図) どういう状態	態にしたい	給食費の一	一部を支援す	けることで紹	経済的な負担	旦軽減を図	る。		
対象事業等の内容				家計の経済  全額を補助		え減するため	、生徒の係	<b>R護者が負</b> 担	旦している糸	含食費のう
積算方法	中学校3年生	E(4 <b>~</b> 2月):.	月額450円/ノ	か月×基準E 人×11か月× 1か月×基準	基準日にお	3ける在籍生	徒数			
	① 対象と	なる学校数			単位∶校	2				単位:
事業量指標と過去5年間 の実績	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
の美視	-	-	_	26	26					
	)	交付人数			単位:人					単位:
成果指標と過去5年間の	R02	R03	R04	R05	R06	R02	R03	R04	R05	R06
実績	-	-	_	84,787	83,756					

2収支状況等 単位·千円

24	X Z 1	大況等						単位∶千円
				令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(決算)	令和7年度(予算)
補		前年度繰	越					
	収	市補助金				37,446	36,990	63,437
助対	入	協議会負	担					
象	内							
事	訳							
補助対象事業等		その他						
の	収入	合計				37,446	36,990	63,437
収支状	市補	助率(%)				100.0%	100.0%	100.0%
文状	支出	合計				37,446	36,990	63,437
況		うち食糧費	、交際費					
	次年	度繰越						
	一般	財源						
	特定	財源				37,446	36,990	63,437
市	人件費	正職員	人工			0.1	0.1	0.1
市負担額		工城兵	金額			776	783	808
額		臨時•嘱託/会計	年度任用職員					
		他事務費						
	合計					38,222	37,773	64,245
受:	益対	象者数				84,787	83,756	243,612
補具	助金島	単位コスト(	単位:円)			451	451	264
		共通	事項 目	◆ 支出根拠が法令、条	:例、規則、要綱等に基づ	いている ◆ 支出目的	的、支出範囲が法令の規	定に抵触しない
			7.7	◆ 交付申請等が定めた	ことおりになっている			
油	格性	団体	の運営、	◇ 会計処理が適正であ	5る ◇ 設立目	的、事業内容等と補助目的	的との整合性がとれてい	3
逈	竹土	会計	処理等	◇ 決算における繰越金	注(剰余金)が補助額から	判断し、妥当である		
		ᄬᄼᆓᇄᄱ		100 F B 2 500 F B 2	104 F B 2020 F B 4	\105 F & 355 F M \ \1	100 F F 7 000 F F 7	103 F B 0 03 0 T B

[No 283]

		-  Щ	[140.200]
	項目	チェック項目等	→ 評価
(		◆ 事業費は調査、研修、懇親会等を対象外	■ 合致する
	/1/分色奴弗	◇ 運営費は交際費、慶弔費、飲食費、懇親会費等を対象外	
	(1)対象経費	◇ 例外的に食糧費等一定の上限額を設定し対象	□ 概ね合致する
		◇ 食糧費等、原則対象外経費を補助対象	□ 合致しない
		◇ 適正な負担を設定	■ 合致する
	(2)受益者負担	◆ 受益者負担額分を考慮(減額)し補助額を決定	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		◇ 団体 1/2以内	□ 合致する
1	(3)補助率の参考	◇ 個人 1/3以内	
補	基準	◇ 個人等に対する利子補給 5%以内	
補助金交付基準と		◆ 上記以外	■ 合致しない
立		◇ 同一団体に対する補助、4年を目途に見直し(外部機関に係る部分除く。)	□ 有(4年未満)
付			□ 有(4年以上)
基		◇ 奨励目的の補助、終期を設定	□ 継続4年未満
準	(4) E ± 1 #088	◇ 終期未設定で、補助継続4年以上	■ 同一団体、奨励目的補助ではな
	(4)見直し期間 (終期設定)		い(対象外)
の	(於粉取足)		□ 同一団体補助だが、見直し設定
週			していない
適合性			□ 奨励目的補助だが、終期を設定
'-			していない
	(5)交付規程	◆ 交付規程は制定済、選択基準に合致、その他必要な規定は網羅	■ 合致する
	(支出根拠)	◇ 上記以外	□ 合致しない
	(6)支出を証する	◇ 実績報告時、支出証拠書類提出有	□ 合致する
		◇ 額の確定時、実地調査等(預金通帳や支出証拠書類原本、帳簿等の確認)を実施	(※左欄2項目とも適合)
	書類の添付	◇ 実績報告時、書類大量で、抽出確認や実地調査等で添付に替えている。	■ 概ね合致する
		◆ 書類は添付済だが、実地調査は未実施(ただし、不要な旨合理的な説明が可能なもの)	
		◇ 上記以外	□ 合致しない
		(この補助金の公益性を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
24	· 益性	令和5年度に値上げした給食費の増加分を市費で負担することで、給食費を負担している	■ 公益性が高い
~ 1	. ш. I т	子育て世帯の経済的負担の軽減を図っている。	
			□ 公益性が高いとは言えない
		(この補助金が必要である理由を、具体的に記入する)	(左の内容を踏まえての評価)
		物価高騰等の影響を受け、給食食材を含め様々な物価が上昇していることから、経済的	■ 必要性が高い
		な負担が家計に影響を与えている状況で、給食費に対する支援を求められており、必要性 は高い。	□ 必要性が高いとは言えない
		(この補助金によってどのような効果があったのかを、実績等に基づき具体的に記入する) 令和5年度に給食費を改定し、その値上げ分を支援することで値上げ前と変わらない負担	(左の内容を踏まえての評価)
4交	力果	で学校給食が実施できることから、給食費を負担する児童生徒の保護者の経済的な負担	■ 効果が高い
		軽減が図られている。	□ 効果が高いとは言えない
		「補助金交付基準との適合性」で合致しない理由について、記載し説明すること。	
57	の他	(3)補助率の参考基準	
		給食費のうち、令和5年度に値上げした額を補助することとしているため、補助率の参考基	準と合致していない。

# 4令和3年度行政評価への対応状況等 (行政評価)

<u>(1丁以評1四)</u>	
補助金名称(当時)	
(1)行政評価の結果	理由、改善、見直しの方向
(2)対応年度	具体的な内容と効果

(その他の見但し)		
見直しの年度	具体的な内容と効果	

#### 5補助実施上の課題とその解決に向けた取組

課	題	補助金を廃止又は縮小となった場合、保護者負担が増大する。
解決に	向けた取組	今後も補助を継続し、保護者の負担を軽減する。

評価	結果	結 果   理由、改善・見直しの方向					
1次評価	継続	物価高騰の中、給食費を負担している子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、継続することが妥当。					
外部評価	1	_					
2次評価	見直し	国の学校給食費無償化の動向や財源、他都市の状況等を踏まえ、事業内容を検討すること。					